

施策評価表

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（課長等）	2年 7月 27日
2次評価日（部長等）	2年 7月 27日

1 施策の概要

施策名	地域医療体制の推進	コード	3-2
この施策の主な内容	地域医療体制の充実、地域医療の周知と啓発、救急医療体制の維持・充実、医療従事者の養成・確保、岡谷市病院事業（岡谷市民病院）の充実、岡谷市看護専門学校の実施		
第5次総合計画におけるこの施策の目的	医師会など関係機関との連携を強化し、地域医療体制の維持に努めるとともに、将来にわたって安定した地域医療が提供できるよう、医師や看護師をはじめとした医療専門職の確保及び養成を図る		
担当部課	部 健康福祉部	課等 健康推進課	作成者 林 康範

●施策の実施内容（D0）

2 施策指標の達成状況

* 第5次総合計画における目標指標の達成状況（前期基本計画：元年度～5年度）

施策指標名	単位	29年度	30年度	元年度			2年度	5年度
		実績値	実績値	目標値	実績値	達成率	目標値	目標値
① 医療体制の充実に満足しているとする方の割合	%	42.4	42.3	44.0	-	-	45.0	50.0
指標説明	岡谷市民アンケート調査における、医療体制の充実に対する市民の満足度							
②						-		
指標説明								
③						-		
指標説明								

3 施策全体にかかる合計コストの推移

* 項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示

単位：千円

	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
直接事業費	20,214	18,671	20,049	22,152
人件費	66,400	66,400	66,400	74,400
合計コスト	86,614	85,071	86,449	96,552

●施策の評価（CHECK）

4 施策の現状評価

* 元年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

医療体制については、初期救急医療体制として、医師会・歯科医師会などの協力により、休日在宅当番医制度、小児夜間急病センターの運営を実施している。第二次救急医療では、医療圏内の市町村や医療機関の協力による病院輪番制度がとられており、更に第三次救急救命医療体制がとられている。病院整備事業では、平成27年10月14日に岡谷市民病院が開院し、平成28年には駐車場整備を含め全ての事業が完了した。看護専門学校は平成26年度に開校。令和元年度卒業生27名、看護師国家試験合格者27名。

* 岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	新岡谷市民病院の開院、看護専門学校の開校等により、医療機能の充実、看護師確保のための基盤整備が図られている。
岡谷市の弱み	後継者不足等により診療所が減少している。岡谷市民病院において、診療科によっては医師が不足している。

5 今後の外部環境の変化

* 令和3年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	
不利に働くもの	医師会員の高齢化

●改善の内容 (ACTION) / 次年度の計画 (PLAN)

6 令和3年度 施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

* 優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
 * 見直しを行う分野＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	医療を担う人材の安定的な確保 関係医療機関の連携強化 看護専門学校卒業生の看護師国家試験合格率の増
見直しを行う分野	

●令和3年度の優先度

* 方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付する。 直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	指標名	単位	成果指標			妥当性	方向性	優先度
							直接事業費		人件費			
							29年度	29年度	29年度			
							30年度	30年度	30年度			
							元年度	元年度	元年度			
2年度(目標)	2年度(予算)	2年度(予算)										
1		一般	なし	地域医療体制推進事業	年間総受診者数	人	2,763	1,790	2,400	高い	継続して実施	B：現状維持
							2,643	1,695	2,400			
							3,096	1,807	2,400			
							3,096	1,977	2,400			
2		公共施設	なし	看護専門学校運営事業	施設稼働率	%	-	18,424	64,000	高い	継続して実施	B：現状維持
							-	16,976	64,000			
							-	18,242	64,000			
							-	20,175	72,000			
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												